

令和8年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学年	3年	類型	カレッジコース
教科書	My Way Logic and Expression Ⅱ(三省堂)			副教材	My Way Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK(三省堂)				
学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点		
				知	思	主			
1 学期	4	Lesson 1 I Love My Country	これまでの経験についての会話		◎	○	学習のねらい 1学期は完了形、未来表現、助動詞、不定詞について学びます。 2学期は、主に動名詞、分詞構文、比較表現、関係代名詞、関係副詞について学びます。 3学期は無生物主語の構文、強調構文や同格などのthatを使った表現について学習します。 また、トピック別の単語やフレーズ、つなぎ語の使い方などを身に付けます。 文法事項や表現を定着させるため、できるだけ多くの問題を解くとともに、身に付けた表現を使って言語活動を行います。 学習の目標 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。		
			好きな場所の紹介		○	◎			
			完了形、未来表現	◎	○				
	5	Lesson 2 The New Wave of Sports	週末の予定についての会話		◎	○			
			助動詞	◎	○				
			中間審査	◎	◎				
			好きなものを紹介する		◎	○			
	6	Lesson 3 The Future of Technology	贈り物について説明する		○	◎			
			不定詞(3つの用法)	◎	○				
		Lesson 4 Rediscover Kabuki	日本文化についての会話		◎	○			
			日本文化を紹介する発表		○	◎			
	7		期末審査	◎	◎				
			知覚動詞、使役動詞	◎	○				
			不定詞(原型不定詞)	◎	○				
2 学期	9	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	科学技術についての会話		◎	○	評価の観点 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用し論理的に表現できる技能を身に付けている。 思考・判断・表現 外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して場面に合った適切なコミュニケーションを図ることができる。		
			動名詞	◎	○				
			分詞構文	◎	○				
	10	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	倍数表現	◎	○				
			大きいものを身近なものに例える	◎	◎				
			比較表現	◎	○				
		Lesson 7 Can we Go and Live on Mars?	火星についての会話		◎	○			
	11		火星の生活についてのレポート		○	◎			
			関係代名詞	◎	○				
			関係副詞	◎	○				
		Lesson 8 Language and Society	旅行に関する会話		○	◎			
	12		ある仮定の上での会話		◎	○			
			仮定法	◎	◎				
		Lesson 9 Send Our Love to the World	悩む事を伝える会話		○	◎			
			社会問題についての発表		○	◎			
3 学期	1	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	無生物主語構文	◎	○		主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。 備考		
			関心のある人物の紹介		○	◎			
			学年末審査	◎	◎				
	2		家庭学習						
			〃						
			〃						
	3		〃						

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【英語上達のポイント】

- 既習の内容を土台にして、新しい内容を学習していきます。
- 学習した重要事項を使って、積極的に表現活動に取り組んでください。
- 対話文は実際に声に出して読み、内容を理解してください。
- 英語の構文を理解し、英語での表現に活かしてください。
- 表現に必要な語彙を積極的に学習していきましょう。
- 基本的な文法事項は確実に覚えてください。英語を表現するのに必要になります。
- 各種検定に挑戦しましょう。普段の授業で力をつけ、自分の英語力を試してみましょう。

【授業】

- 週に2回の授業があります。
- 各レッスンの授業の進め方は、だいたい次のようになります。
 - ① Model Conversationの対話文を読みます。
 - ② 重要構文、文法事項を確認します。
 - ③ 自分で英作文したり、練習問題やワークを解きます。
- 対話文の内容把握と練習問題を解いて授業に臨んでください。
- 板書に加えて、口頭で示された重要ポイントもノートに書いてください。
- 習った重要事項を使って、積極的に表現活動に取り組んでください。

【家庭学習】

- その日のうちに授業の復習をし、授業内容の定着を図ってください。
- 次回の学習するLessonの対話文の内容把握と練習問題を解いてください。
- 分からないところがあっても、できるところまで自分の力で英作文しましょう。
- 辞書、単語帳、文法書を使用し、英語の表現力向上につなげてください。

【定期考査】

- 授業で学習した内容が基本になります。
- 本文の内容把握、重要構文、文法事項、新出語彙などを再確認しましょう。
- 目標となる得点を設定して、考査範囲全体をまんべんなく学習しましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価します。出席状況、授業態度、ノートの整理状況、課題の提出状況、課題テスト、小テスト、定期考査をもとに総合的に評価します。	
評価の基準	1 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	2 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	3 学 期	学年末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均